

1995年8月10日第三種郵便物認可（毎週一回水曜発行）
2023年4月10日発行SSKS増刊通巻第8720号 風の子便り

SSKS

風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう

2025年 3月号



障害者アート展が虎屋赤坂ギャラリーにて催されて、風の子会も作品を出展したので、みんなで眺めに行ってきました。
作品の前で、みんなではいチーズ！

工房ぷらす

メンバー 柳川 敬事

赤坂のとらやさんで障害者アート展に行きました。風の子会は今年の干支の絵が飾ってありました。蛇🐍の絵です。紙で作りました。素晴らしかったです。

大根の絵と手ぬぐいが飾ってありました。朝生さん、斎藤さん、野田さんは小さな羊羹を買って、食べてました。島田君はオレンジジュースを買って、飲んでました。



小さな羊羹を買った斎藤さん



今年の干支は巳年です。

企画でござる

メンバー 田中 聡

2月1日（土）企画会議

風の子便り2月号の会報はモニターを使って、読み合わせを行いました。今回も文章の指摘がありました。3月号の記事に、昨年12月メンバーの太田さんが亡くなったため、追悼特集を組むことになりました。メンバー・職員・ボランティアさんが書くことになりました。もう既に数名のボランティアさんから追悼特集頂いていることを、岡本所長から報告がありました。

2月15日（土）企画会議

風の子便り3月号中間報告と、太田さん追悼特集記事について話し合いました。追悼特集は、どういう内容にするのか、順番をどうしたら良いのかについて話し合いました。3月号は、太田さん追悼特集記事を載せるため『なつかしのアルバム』と『ひとりごと』と『GOGO川柳』は休止となりました。

夕会報告

報告者 小熊 健

1月11日（土） 夕会報告

司会：柳川 補助職員：岡本 書記：石黒



【議題】

- ① 3月のお出かけと買い物ミッションにつて。
- ② 「外に出よう」について。
- ③ 「防災食」について。
- ④ 「いちご狩り」について。

①のお出かけと買い物ミッションについては今まで通り行う。
お出かけは、店内の飲食はNG。混んでいる室内施設は控える。美術館はOK。以上の条件で行う。

②「外に出よう」についてはメンバーの希望地を3つに絞り、実行委員が下見した後で提示することになった。

③「防災食」については、バウムクーヘンは見送ることになった。

④「いちご狩り」については、実行委員が『シャインベリー』の下見に行くことになった。

※2月の夕会報告は次号に掲載します。

～実行委員会からのお知らせ～

今年の外に出ようは5月10日開催となります（雨天延期は5月24日です）。目的地等、実行委員会で現在必死に検討しています。決まり次第またお知らせするので、もう少しだけお待ちください。



候補地の一つを下見中。
場所は・・・ヒミツです。

ひとりぼっちの障害者をなくそう！③



☆ 風の子水先案内 ☆

～ 2025年2月の出来事 ～

◎運営委員会(2月5日)

○各小委員会報告

虐待防止委員会・・・虐待等疑いの点検のため、活動点検委員会にも相談していく。

身体拘束等適正化対策委員会・・・研修資料をメンバーが閲覧できるようにしていく。

活動点検委員会・・・3月までに相談員が相談会を開催できるようにする。

感染症予防防止委員会・・・[自粛期間は5日間、二酸化炭素濃度は800ppm(冬場は1000ppm)を上限として室内換気の徹底、マスク、消毒、パーティションの徹底]等の感染予防対策は対策要綱としてまとめ、今後は毎回確認しない。

災害対策委員会・・・次回災害伝言ダイヤル試用は2月15日。



賞味期限が半年近くなったアルファ米をメンバーに配布する。

社会福祉施設等への非常用電源等整備促進事業の申し込みが完了した。

事業継続対策委員会・・・報告は特になかった。

労働環境安全委員会・・・職員が有給休暇の失効分を有効活用できるように次回詰めていく。

保健衛生委員会・・・職員は抗原検査を毎週実施していたが、検査キットのストックがわずかとなってきたので、今後は症状が出た人のみ検査してはどうかという提案



が出て、承認された。

事故防止委員会・・・メンバーに起きた事故案件を委員会で検討し、対策を次回報告する。

研修計画・・・介護福祉士等の国家資格の受験料を補助する。

相談員にも虐待防止研修等、相談活動に資する研修を受けてもらう。

再編成・・・役割が重複している小委員会がいくつかあるので、次回までに再編成し、

規則整備と担当調整する。

◎今年こそ・・・！

○3月開催予定のいちご狩りの下見に実行委員が行ってき
た。場所は千葉市にある「シャインベリー」といういちご
園。バリアフリーも整っていたし、ビニールハウスも広くて
車椅子も通りやすかったし、いちごの種類もいくつかあっ
て美味しかった。距離的にも問題なかったなので、今年こそ
開催できるように進めていきたい(ちなみにこの日、この
実行委員はいちごを20個食べたらしい)。



◎ミネストローネ

○防災食試食第6弾はミネストローネ。避難時に味の濃
いものを食べられるのは嬉しい。具も適度に入っていて食
べ応えもあってよかった。あえて難点を挙げれば、具を食
べるためにはスプーンが必要ではないか、という点だ。

◎虎屋にて

○工房班が制作したちぎり絵を、障害者アート
展に今年も出展した。アート展開催場は虎
屋の赤坂ギャラリーということで、みんなで見
に行った。干支をモチーフにしたちぎり絵は
出来も良かったし、好評も得ていたので、次
回もまたいい作品を作ろうと工房班は息巻い
ているようだ。



文責 運営委員・小野塚

買い物ミッション&お出かけボランティア募集

メンバー 島田龍司

毎月僕達は、買い物ミッションとお出かけに行っています。一緒に行ってくれるボランティアさんを募集しています。来ていただければ幸いです。

2月4日お出かけ



深川不動尊の初詣に行きました。
出来たての甘酒を買っている様子です。

2月12日買い物ミッション



僕は一生懸命に
お金を数えています。

集合場所： 風の子会

時間： 13:00 ~ 15:45

買い物ミッション： 近隣のスーパーやホームセンターで買い物します。（時間があったらその後散歩に行きます）

お出かけ： メンバーが行きたい場所を決めて外出します。

※参加出来る方は日程をお伝えしますので、風の子会までお電話下さい。月に15回程度やっています。ご連絡お待ちしております。

鐘をカーンとね！



深川不動尊

線香がむせる！



上野弁天島

ショットショット
～それぞれの初詣～

作・小野塚

泉岳寺



哀愁漂わせながら、一人

築地本願寺



健康第一！



ミッション後のコーヒープレイク



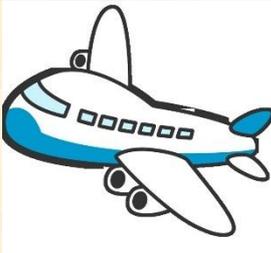
ブラックが沁みるぜ



羽田空港

ショットショット
～つれづれのたわむれ～

ここ来るの何回目だよ？



新井薬師



私は牛になりたい・・・

☆風の子の部屋☆

～メンバーが思いのままに綴った、ちょっとした小話のコーナー～

嘘でしょ！？ 3回もコロナだよーん泣

メンバー 廣瀬依生

年末から体調が悪くなり、喉の痛みが出てきた。1月9日の朝、38度位の熱があり痰が絡んでいて出にくくて訪問看護師さんに来てもらい吸入をやってもらいました。緊急で訪問（あおぞら）ドクターさんに来ていただきました。インフルとコロナ検査をしたらコロナ陽性反応が出たΣ(°Д°|||)ドクターさんは入院先を探していた時、私は、酸素が苦しくて意識が朦朧となっちゃって、母は救急車を呼び、救急隊員さんが、優しく「お名前とか言えますか」と聞かれたけど何とか答えた。酸素がやばかったので、酸素機を使いました。そしたら落ち着いて、救急隊員さんが、入院先を調べて電話をして、入院先が決まりHCU部屋に入院となった。（HCUは高度集中治療室のこと）部屋は、1人部屋で静かな場所で寂しかった。看護師さんは優しい人や怖い人もいた。優しい方は、私が指示でスマホを操作して電話を妹にかけてくれました。妹の顔を見て元気が出た。

ちょうど妹は、納豆食べて美味しそうで羨ましかった(_ _;) 面会は、出来ないから病院の面会用のタブレットでZoomを母と父の顔を見たら涙が止まりませんでした。寂しくて話もあんまりできなくて顔を見ているだけで時間が終わっていた。またベッドで過ごして点滴だけなので、お腹がすきました。水分もカラカラでした。1月14日に、退院ができました。

元気がなくて父が、新しい
アイホン買ってくれと
予定してくれた

家族ラインに写真を送
るから撮っている



風の便り

山崎真理子

車椅子とともに歩く会の活動に参加したのがきっかけで風の子会と
のご縁が出来て「外に出よう」の会議にも出席していたのは、武藤さ
んが所長の頃だったと思います。何年前なのか瞬時に計算が出来ない
けれど（笑）。

活発な意見交換があって、行先が決まって、グループで本番を楽し
んでと数回参加したと思います。

場所は忘れましたが、ゴンドラの床が透明な観覧車に乗った時に、上
に行くに連れて、会話が少なくなり、笑顔も消え、顔色も心なしか悪
くなって……。

高い所が苦手の方々が居られたようで乗降に時間がかかるとその場
に止まる時間も長くなり、怖い時間が長く長く感じられた事と思いま
すが、無事に着地出来てほっとしたのを覚えています。

今は、風の子便りで皆様のお元気な様子を拝読しています。

この当時から続いている地元のボランティアはコロナで中断を挟み、
昨年夏頃から再開、昨秋には四年振りとなるバザーも規模を縮小して
開催となり、久々に各曜日ボランティアメンバーが集いました。

コロナの影響で活動時間や出来
る事も限られますが、その範囲で
出来る事を無理なく続けていき
たいと思っています。

皆様、お身体に気を付けてショ
ットショット等でお姿を拝見する
のを楽しみにして居ります。

2003年「外に出よう in 葛西臨
海公園」左から2人目が山崎さん



～ 太田稔さん、やすらかに～

太田稔さん追悼特集

ダンナと初めて会った時、ダンナにこう言われました。「岡本君、対等な立場でやることが大事だよ。遠慮はいらないよ。」その一言は、僕の中で忘れられない言葉となりました。今、僕がこうして風の子にいられるのも、ダンナと出会って教わったからです。野球の話、Hな話、お互いの悩みごとの相談。色々とお話しました。もっと話したかった。

でも、ダンナとの思い出はずっと僕の心の中にあります。

所長 岡本 裕介

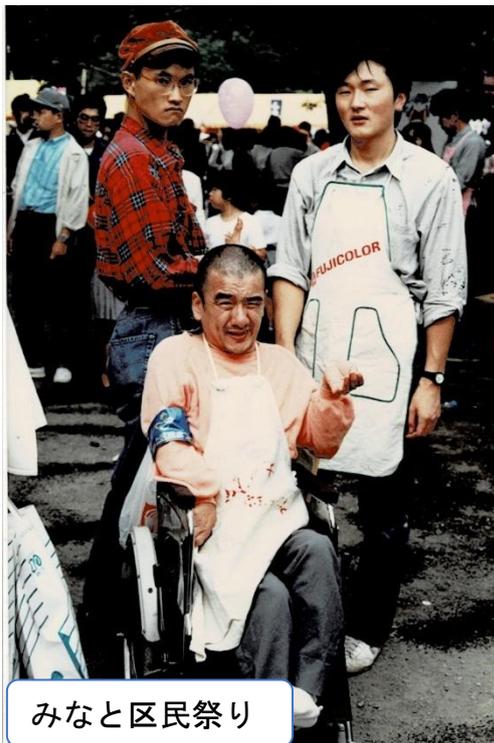


在りし日のダンナ

太田稔さんの歴史（行事・作業編）



太田稔さんの歴史（笑顔編）



ダンナ、ありがとう

～追悼文集～

ダンナ、聞いてますか

2025年2月 ボランティア 岡本 明

ダンナが突然逝ってしまってから、早いものでもう2か月。この間、何度「さて、今日もダンナと飯食うか」と思い、「あ、もういないんだ」と苦笑いしながら風の子会へ向かったことか。

あまりにも突然のことでした。このところ体のあちこちが痛み、口内炎もよくでき、言葉も出にくくなってきて、かわいそうだった。心身共にけっこう歳とってきたな、とは思ってはいたけど。でも、つい数日前には仕出し弁当を「あー、おいしい」と言いながら完食。私が持ってきた干し柿もべろりと平らげ、「この調子だと、僕は85までは生きるよ」と意気軒高。加えて、「早く後添えをもらいたい」なんて馬鹿なことをのたまっていた（けしからんことに、どうもこれは本気だったようだね。まったく能天気なダンナだ）。

「ダンナが息をしていないらしい」と井出さんから連絡をもらって、家に駆けつけると、ダンナはベッドで口を開いて寝ていた。いつもと全く変わらない。でも、「ダンナ、おはよう」と言っても答えてくれなかった。どうやらこのところの忘れっぽさが出てきて、寝ているうちに息をするのを忘れてしまったんだね。自分が死んじゃったことは知ってるのかな。穏やかな顔は、苦しみもなく、カミさんに会いに楽し気に三途の川を渡っているようだった。

ダンナとはもう40年以上の付き合いで、飲みにもよく行った。夫婦4人で行ったことも何度か。ダンナはもっぱらチューハイ。ある程度飲むと、突然ろれつが回らなくなってくる。そんなときのお決まりのセリフは、「僕は幸せ。脳性麻痺でよかった。いまの風の子の職員はみんな素晴らしい。〇〇ちゃん大好き」。

「飲みに行こう」のほかにも、「寄席に」、「神宮球場に」、「市川由紀乃の歌を聴きに」、「旅行に」などたくさんの約束をしていたけど、飲む以外はどれも実現してない。これから少しずつと思っていたのだけど、約束を破ってしまっておめん。

ダンナはあまり約束を破ることはなかったが、「お互い85までは元気でいようぜ」の約束は最後に大破りしてくれたなあ。仕方ないから私は一人で頑張るぜ。そのときまでには「天国風の子会」をきちんと作っておいてね。私も入るから。

さて、ダンナにはこれから大切な役割を務めてもらわなければならない。それは、風の子会が楽しく続けられるように天国から見守ってくれること。何かあったら助けてくれること。しっかりたのみますよ。

じゃあね。また会う日まで。



2003年 一泊旅行（喜連川）

僕にとっては風の子会はダンナで、ダンナといえば風の子会でした。同じように南青山はダンナで、ダンナといえば南青山でした。これからも風の子会を手伝うたびにダンナを思い出すでしょうし、南青山を通るたびにダンナがひょっこりと通りを出てくる気がし続けることでしょう。またいつの日か会いましょう。

元職員 丸岡 秀明



僕がダンナに出会ったのは、約30年前です。地区が近かったので、送迎が一緒に、車内ではいつも楽しませて頂きました。ダンナの声がとても懐かしいです。女子職員には下の名前で〇〇ちゃんと呼べる所が羨ましかったし、女子職員も嬉しそうな様子でした。ダンナから教わったことは、やって貰った事に対して素直に感謝の言葉を使う事と、好きな物を食べ好きな物を飲み好きな作家の本を読むということです。ダンナの好きな食べ物と言え、鰻・コーラ・ピザでした。好きな作家は山本周五郎でした。そして笑顔を絶やさない事です。ダンナは、いつも笑顔を欠かしていませんでした。あの笑顔には癒されました。もう観られないと思うと寂しいです。さようならそしてありがとうございました、安らかに眠りください。

メンバー 三木 直人

天国に一足先に旅だった方々と又楽しく過ごしている事でしょう。心からご冥福をお祈りいたします。

ボランティア 小野 由紀子

風の子と出逢って33年・・・

風の子に来たばかりの頃はまだ若く人見知りして自分から話しけることもできず話しかけられても笑顔もかえすこともできなかったけど、そんな私にダンナは何度も話しかけてくれたのを覚えています。風の子に続けてこれたのはダンナの存在も大きかったと思う。

最初から風の子にいたダンナは、私にとってシンボリック的存在でした。風の子に定期的にこれない時間も久しぶりに風の子に行くとはっとしたのを覚えています。ダンナと出逢えてよかった。ありがとう！！

職員 宮嶋 佳子



風の子の職員になって早々、ダンナから「山名君、君のこと一つ気に入らないことがある」とトイレ介助の折に個人的に指摘されました。それは私がダンナをさん付けで呼んでいたからで、ダンナとしてはアルコールも入れたせいか、不機嫌な思いをぶつけ、距離感を感じた呼び方を嫌ったのでした。「じゃあ、180度接し方を変えるからね。」と私は謎の同意を取り付けたのでした。人と人の間のバリアを嫌った彼の存在が、風の子らしさを体現していたのかなと感じます。楽しい思い出をありがとう。

元職員 山名 宗孝

太田さんの思い出、太田さんと言えば料理です。よく井出事務長さんと料理話してました。ぶり大根、おでんの話で盛り上がりました。それを聞いて、楽しかったです。

メンバー 柳川 敬事



体に幾つかの病気を抱えながらも明るく振る舞ってくれた旦那 笑顔をありがとう
天国でカミさんと幸せに過ごしてください 合掌

職員 古池 久男

昨年の12月19日に太田稔さんが82歳でお亡くなりになりました。私とは40年間の長い付き合いでした。例えば、お互いの家に行って酒を呑んだり、風の子会で色んな活動とか行事をやりました。私は、太田さんが亡くなったと聞いてとても悲しかったです。

メンバー 幸 高史

だんなさんへ

出会ってからの時間は短かったです、名前を覚えてほしくて会うたびに名前を言い続けていたら「わかってる」って言ってもらえた時、胸がキュンとしました。いろいろ教えていただき、ありがとうございました。

職員 櫻井 久美

私のダンナ観

端的に言えば、“ロミオ”ということ。“女たらし”で歴代の女の職員に目を♥にしていた感じ。女の職員側も気分よくなっていたように思います。一方男側もダンナとの会話に興じ惹かれてしまいます。つまりは、ダンナは「人たらし」。話を交わす人たちの心を鷲掴みしてしまうような「何か」を持っていました。晩年は、言葉も少なくなっていたようですが、姿そのもので「何か」を語っていました。ダンナと出会えてよかったです。言い尽くせないけど「どうもありがとう」カミさんと楽しくね。Bye
元職員 金子 好守



12月19日（木）に風の子のメンバー太田稔さんがお亡くなりになりました。ご冥福をお祈りいたします。前日の水曜日には風の子会に来て、散歩へ銀座に行きおやつにアップルパイを食べ元気な姿を見ていたので、井出事務局長から連絡が入り絶句しました。太田さん（ダンナ）は、風の子会を結成当初からのメンバーで、風企画の僕にとって大先輩でした。個人的な付き合いはありませんでしたが、

一泊旅行やみなと区民まつりのような行事で、一緒にお酒を飲んだりマージャンクラブで対決したりしたことが懐かしい思い出です。風企画では、風の子便りはチューブストローの先を口に加えてコスイッチとして文章を書いていました。連載も多数書いており、風の子便りの評判を良くしていただきました。これからも僕たちが、風の子便りの評判がもっと良くしていきたいと思っていますので、ダンナ、天国で圭子さんと風の子会を見守っててください。

合掌

メンバー 田中 聡

知ってる方が亡くなっていくのは寂しいですね…ご冥福をお祈りいたします。

元職員 石田 菜帆

先日のみなと区民まつりでお会いしたのが最後になってしまいました。心よりご冥福をお祈りいたします。

ボランティア 木村 友紀子

だんなへ

まだ3ヶ月なのか、もう3ヶ月なのか、時間的感覚がよくわからなくなってきているけれど、すっぱり抜けてしまった喪失感は、まだしっかり心の奥に残っているのです。

「小野塚君のことが大好きだ」「君は僕の親友だ」しょっちゅうだんなはそう言ってくれました。親子ほど歳の離れた僕にそう言ってくれるのは少し気恥ずかしかったけれど、とても嬉しいことでもありました。風の子という場がなかったらだんなとは出会えなかったし、風の子でだんなと出会ったことは、僕にとって大きな財産です。

飲みに行ったり落語を聞きに行ったり、だんなとはいろいろなことをしたけれど、なかでもやっぱり一番の思い出は一緒に北海道に行ったことです。20

14年の6月、だんなと僕とヘルパーと風の子の職員の4人で、2泊3日の旅行でした。函館、札幌、小樽を急いで駆け回る弾丸ツアーだったけれど、函館の夜景を見ながら歩いたり倉庫街で飲んだり、札幌の時計台に行ったりススキノで飲んだり、函館のウイスキー工場を見学したり運河沿いで飲んだり、観光と酒に溢れた2泊3日でした（実はこの話には後日譚があるのです。僕はその後普通に東京に戻ったのですが、だんなはこの後も旅行を続け、静岡、沖縄と一週間も旅行をして風の子の大事な総会をすっぽかしてしまったのです。それを知った井出さんが大激怒。帰ってきただんなは大目玉を食らったのでした。だんならしいエピソードですね）。今でもふと思い出したりするし、「おまえさんとまたどこか旅行に行きたいねえ」と何度も言っていたのに結局それは果たされないままとなってしまう、今となっては後悔しています。

だんなともっといろいろなことがしたかった。だんなともっといろいろな話をしたかった。だんなともっと、飲みたかった。何だか悔いばかり思いが募ってくるけれど、こんな僕でもきっと、だんなは「大好きだよ」と言ってくれる気がします。そんなだんなだから僕も大好きだし、みんなから愛されていたのでしょう。

だんなはきっと悔いなんて全くなく生き切ただろうし、充実した、愛に溢れた82年だったと思います。そんなだんなの人生に少しでも関われたというのは、僕にとって誇りでもあります。

だんな、あっちではどう過ごしていますか？ またあの満面の笑みでウイスキーを飲んでいますか？ 旧友とは会えましたか？ 大好きなお母さんや圭子さんと思い出話に花を咲かせていますか？

だんな、いつまでもいつまでも、忘れないよ。

メンバー 小野塚 航



太田さんはいつも元気にメンバーや職員と楽しく会話をしていました。でもまさか急に亡くなったという情報があったので、ビックリしました。お葬式には出られなかったけれど、お宅でお骨とお別れをしました。ものすごく寂しいです。心からお悔やみ申し上げます。

メンバー 島田 龍司

だんなさん（太田さん）ほど、ボランティアさんや元職員さんが寄ってくるメンバーもいないのではないのでしょうか。人徳なのか多くの方がその魅力にはまり、なんだか気になってしまうメンバーの一人でした。顔を見ないと大きな忘れ物をした感じで、入院した時も何度となく足を運んだものです。「りっちゃん（私をそう呼んでいた）来てくれてありがとう」大好きなとびきりの笑顔でそう答えてくれた姿は、今も私の心にほんわかと残っているのです。

職員 石黒 由里永

びっくりです。まさかと思いました、風の子会ではスタッフもメンバーの方々も気さくに接していただきました。太田様はその中心的存在の方でした。ご一緒した楽しかった日々を思い出しています。ありがとうございます。安らかにお眠りください。

ボランティア 中山 信孝



太田様ご逝去の報 今 胸がずんと重く悲しみの想いの中 だんなの笑顔が鮮明に浮かび泣いてしまいます。 悲しいです。

だんなのあまりに突然のことに風の子会の皆さまのご心痛いかばかりかと 特に仲良しの小野塚さんが心配です。退職から十年が過ぎました。私は太田ご夫妻から本当にいろいろな事を教えて頂きました。素敵なお二人でした。

だんなはかみさんの元へ旅立たれ お二人仲良く風の子会の皆さまを見守ってくださいね。

風の子会の永遠のアイドル 太田様さまの在りし日 笑顔を偲びつつ心よりご冥福をお祈り申し上げます。

元職員 石田 美穂

太田さん。お疲れさまでした。あなたの笑顔に優しく包まれていたと感じていました。これからは空の上から見守って下さいね。

ボランティア 金子 豊

太田さん。最後の食事介助で「いつもみたいにやってよ」とのやり取り、鮮明に覚えています。あなたの「ありがとう」に自分は何度も励まされました。御冥福をお祈りします。

職員 小林 宏幸

安らかな最期だったのですね。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

ボランティア 伊野 秀信

ダンちゃんへ

ダンちゃんには、いつも癒されて、いつも笑わせてくれて元気をくれたり沢山の事を色々と教えてくれました。私が風の子で働いてる時は必ずありがとうと言葉で伝えてくれてそんな心遣いを忘れない素敵なお人です。だからダンちゃんの側には、いつも人が集まっていた。ダンちゃんって声を掛けたらあーにー実華ってニコって笑。本当可愛らしくて大好きでした 😊
もう会えないと思うと本当に寂しいです 😞
今までありがとうございました。天国でカミさんと再会できたかな♡

元職員 潮来 実華



～ ダンナ、ありがとう ～

「木村くん、いつもありがとう。」 ダンナこと太田稔さんは、朝の送迎が始まると、特別なことをしたわけでもないのに、必ず「ありがとう」と感謝の言葉をくれる人でした。それは誰に対しても自然で、温かいものでした。

どこにいても、誰といっても、ダンナのまわりはなんだかほっこりと温かくなる。気が張っているときも、疲れているときも、ふとした一言で安心させてくれたり、場を和ませてくれたり。ダンナがいるだけで、空気がやわらかくなる。そんな人でした。そんなダンナがくれた「ありがとう」の気持ちを、これからは私たちが誰かに届けていくよ。

ダンナ、これまで本当にありがとう。またどこかで会えたら、今度はこっちから「ありがとう」って伝えさせてね。

職員 木村 智宏

「稔なら、大丈夫よ」

井出義文

僕がダンナとカミさん夫婦に初めて会ったのは、障害者問題にかかわりだした学生のときだった。蜂の会という障害者と健常者の対等を目指す都内の団体の例会だった。そして社会人になって港区に同じような「サークルアラクサ」（風の子会の前身）をやりだし、入らないかと誘ったら二つ返事で夫婦で入会してきた。

ダンナは生まれた時から、歩くことも座っていることもできずにごろごろ転がってしまい、首も腕も手も指先も緊張のため自由に動かず鉛筆もスプーンも何も持てない、口も緊張でうまくしゃべることができないという最重度の脳性麻痺の障害をうけていた。そのダンナが、同じく脳性麻痺で歩行できず、お蕎麦のどんぶりがやっと持てるくらい上肢の力が弱いカミさんの介助を受けながら夫婦として生活している様子は、ほかの重度障害者やボランティアには衝撃であり、憧れであり、励ましだった。

ダンナは風の子会では、サークルの代表、風の子会の事務局長、NPO法人の理事を務めた。この50年間を通して、ダンナと僕は「健常者と障害者の対等平等」の夢をいただき、「障害者とボランティアと職員が力を合わせて職員の給料を稼ぐことで風の子は成り立つ」という方程式を信じ守ってきた同志だった。だから力が萎える。

「稔なら、大丈夫よ」

母親が生前に、祖母からダンナの行く末について聞かれたときにそう答えんだと、最近よく、それも自慢げに話してくれていた。

身の回りのことすべてを他人の介助に頼ざるを得ない息子について、「稔なら、大丈夫よ」と見切った慧眼には感心する。

その後の50数年、ほんとにダンナは大丈夫だった。必死に守り育ててくれたお母さんから、妹さん、カミさん、親族の人達、そして風の子に集まってきたたくさんの仲間たち、そしてヘルパーさん、ダンナに差し伸べられた手は驚くほど多かった。

社交的で何事にも積極的で、頭脳が飛びぬけて優秀にもみえないし、単純なところが愛嬌といえれば愛嬌で、平凡で、温和で、気弱などこにでもいるような人柄、なんの取り柄もないのに、……。お母さんの情熱から生まれた強い上昇気流の渦が、ダンナの周りに人を引き寄せてきたのだろう。

天国で、ダンナは先に行ったたくさんの家族や友人や仲間に出会おう。そして、お母さんからは「稔、大丈夫だったね。」と褒められるだろう。

ダンナ、よかったね。

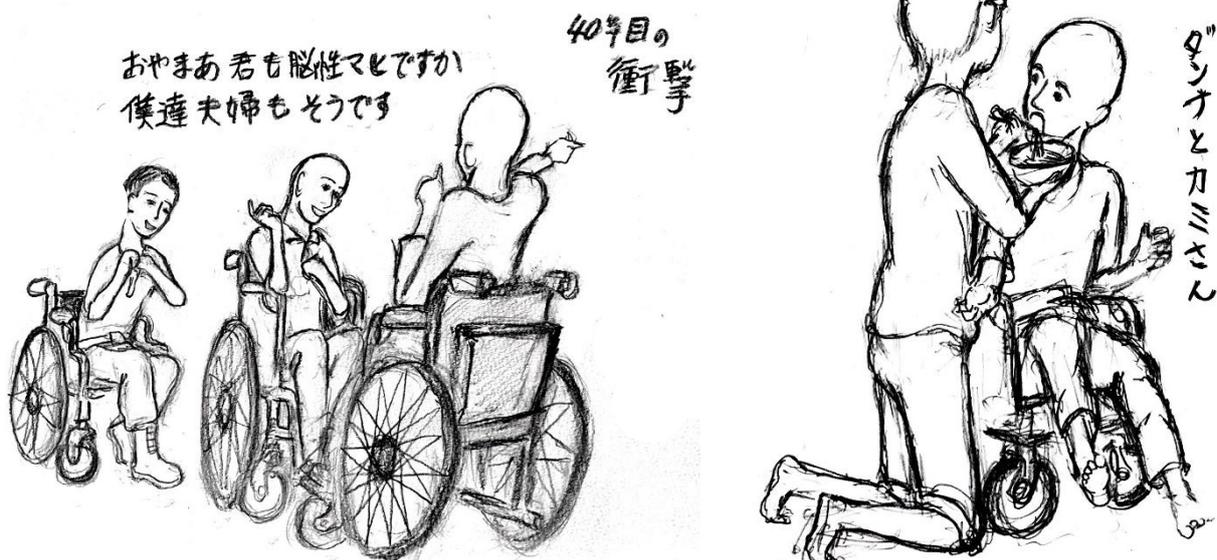


イラスト 井出 義文

賛助会(寄付)のお礼

令和6年度賛助会実績（3月1日現在）90件 5,418,000円

引き続き、賛助会・寄付を募集しています。手続きは、下記の連絡先までご連絡ください。よろしくお願いいたします。

連絡先：特定非営利活動法人 風の子会

TEL: 03-6809-4001

メールアドレス: kazenoko@kazenokokai.or.jp

物品寄付のお礼

物品寄付ありがとうございます。(2月5日～3月1日)(順不同)

永井麻美子様

所長のため息

今年のイチゴは・・・

3月25日に2017年以来、8年ぶりに千葉へいちご狩りに行くことになりました！コロナ禍ということもあり、永らく行けませんでした。さらに8年前はキャブが途中で故障してしまい、イチゴを食べることは出来ず・・・。

今年こそは、おいしいイチゴをみんなと食べたいですね。



8年前は、イチゴ食べられず、アウトレット木更津で遊びました。

ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ～定価40円～

企画編集メンバー

太田 稔	信高 正義
小熊 健	広瀬 依生
小野塚 航	三木 直人
島田 龍司	柳川 敬事
田中 聡	幸 高史

表紙デザイン：小野塚 航

編集人：【高浜生活実習所】生活介護
〒105-0022

東京都港区海岸2-6-29 平成海岸ビル5階

TEL 03(6809)4001

FAX 03(6809)4002

HP：<http://www.kazenokokai.or.jp/>

e-mail：kazenoko@kazenokokai.or.jp

発行人：障害者団体定期刊行物協会

東京都世田谷区祖師谷3-1-17

ヴェルドゥーラ祖師谷102





送迎車で

レインボーブリッジを渡ります。



毎週火、水、金、土曜日、送迎車に乗って
風の子会行ってます。

柳川 敬事